

2022 年産水稻の生育状況

早期：‘あきたこまち’ ‘コシヒカリ’ とともに穂数は平年より多く、一穂粒数は平年より少なかった。登熟歩合は‘コシヒカリ’ で低かった。精玄米重は‘あきたこまち’ で平年並となり、‘コシヒカリ’ で平年より軽かった。

普通期：精玄米重は‘あきたこまち’ ‘ヒノヒカリ’ ‘にこまる’ で平年並となり、‘ひめの凜’ で平年よりやや軽かった。

※愛媛県農林水産研究所における水稻の生育観測結果です。

2022 年産水稻の作況試験生育調査結果（最終）

< 早期 >

耕種概要

（ 移 植：4月20日、稚苗3本植、栽植密度 15.2 株/m² (30cm×22cm)
 施肥量：基肥 窒素 6 kg/10a、穂肥 窒素 4 kg/10a

表 1 水稻作況調査データ(早期栽培)

項 目 (調査日)	あきたこまち		コシヒカリ		
	2022年	平年値	2022年	平年値	
移植35日後 (5月25日)	草丈(cm)	29.7	29.4	33.1	32.8
	茎数(本/m ²)	281	187	322	228
	葉色(SPAD値)	44.5	44.3	38.1	42.2
移植50日後 (6月9日)	草丈(cm)	44.3	44.8	47.4	49.8
	茎数(本/m ²)	556	344	637	403
	葉色(SPAD値)	45.8	45.2	42.7	42.5
出穂期	草丈(cm)	98.5	94.5	108.8	102.1
	茎数(本/m ²)	517	344	507	355
	葉色(SPAD値)	40.0	39.7	37.1	39.1
出穂期	7/5	7/7	7/13	7/13	
成熟期	8/10	8/9	8/17	8/16	
稈長(cm)	90	84	99	93	
穂長(cm)	19.6	19.0	19.6	20.0	
穂数(本/m ²)	493	360	464	373	
1穂粒数	66	79	76	91	
登熟歩合	81	79	57	73	
千粒重(g)	22.2	21.5	22.4	20.8	
精玄米重(kg/a)	53.6	54.7	52.5	59.2	
玄米タンパク含有率(%)	6.6	6.6	6.6	6.5	
整粒割合	83	70	75	64	
検査等級	1.0	1.6	1.0	1.7	
倒伏程度	0.0	0.0	4.0	1.6	

注) 平年値は過去5年(2017~2021年。2017~2018年、2020、2021年は窒素成分量10kg/10a(基肥6-追肥4)、2019年は窒素成分量8kg/10a(基肥4-追肥4)で栽培)の作況試験の平均値。精玄米重、千粒重は1.8mmゲレガー-使用で、水分14.5%換算。1穂粒数、登熟歩合は平均的な3株の塩水選(比重1.06)前後の粒数より算出、整粒割合はサカケRGQI10、玄米タンパク質含有率はTM-3500(水分14.5%換算)で測定。検査等級は穀物検定協会に格付けを委託(数値は反復の平均値)。倒伏程度は0(無)~5(甚)の6段階。

< 普通期 >

耕種概要 (移 植 : 6 月 16 日、稚苗 3 本植、栽植密度 15.2 株/m² (30cm×22cm)
 施肥量 : 基肥 窒素 6 kg/10a、穂肥 窒素 4 kg/10a)

表 1 水稲作況調査データ(普通期)

項 目 (調査日)	あきたこまち		ヒノヒカリ		にこまる		ひめの凜		
	2022年	平年値	2022年	平年値	2022年	平年値	2022年	2019～21年	
移植30日後 (7月15日)	草丈(cm)	55.5	49.9	51.1	46.6	56.3	54.6	46.3	45.6
	茎数(本/m ²)	280	246	432	282	468	313	419	285
	葉色(SPAD値)	44.5	42.7	42.8	41.9	41	37.4	39.7	41.6
移植40日後 (7月25日)	草丈(cm)	77.9	72.8	73.4	63.7	82.7	72.7	66.3	62.0
	茎数(本/m ²)	305	296	419	351	416	352	390	354
	葉色(SPAD値)	43.6	41.4	40.7	39.0	39.4	37.0	36.3	37.2
移植50日後	草丈(cm)	-	-	82.5	75.2	92.1	83.1	75.4	72.5
	茎数(本/m ²)	-	-	385	344	398	354	367	360.2
	葉色(SPAD値)	-	-	33.2	35.2	35.5	33.7	33.2	33.1
出穂期	草丈(cm)	106.9	103.8	116.8	106.6	126.3	117.7	112.3	107.3
	茎数(本/m ²)	284	305	387	313	339	291	315	317
	葉色(SPAD値)	37.7	39.3	32.6	35.5	34.6	36.8	32.6	37.0
幼穂形成始期	7/21	7/22	8/4	8/4	8/10	8/7	8/10	8/7	
出穂期	8/7	8/7	8/24	8/25	8/28	8/28	8/29	8/28	
成熟期	9/9	9/12	9/28	10/4	10/7	10/7	10/4	10/5	
稈長(cm)	88	86	88	83	99	89	86	83	
穂長(cm)	20.3	20.0	19.7	20.2	19.5	20.2	21.4	21.3	
穂数(本/m ²)	290	302	361	329	347	294	319	315	
1穂粒数	82	93	79	95	96	99	84	85	
登熟歩合	82	72	79	73	78	79	88	85	
千粒重(g)	23.3	22.7	21.9	21.9	22.6	23.0	23.2	23.2	
精玄米重(kg/a)	47.9	49.3	51.3	53.3	59.0	57.6	51.1	54.4	
玄米たんぱく含有率(%)	6.2	6.7	6.1	6.6	5.9	6.3	5.9	6.6	
整粒割合	80	78	75	74	69	71	73	79	
検査等級	1.0	1.8	1.0	1.5	1.0	1.4	1.5	1.3	
倒伏程度	0.0	0.3	0.0	0.2	1.0	0.3	0.0	0.0	

注) 平年値は過去5年(2017～2021年。2017～2018、2020、2021年は窒素成分量10kg/10a(基肥6-追肥4)、2019年は窒素成分量8kg/10a(基肥4-追肥4)で栽培)の作況試験の平均値。ひめの凜は2019年度から調査開始。

精玄米重、千粒重は1.8mmゲージ使用で、水分14.5%換算。1穂粒数、登熟歩合は平均的な3株の塩水(比重1.06)前後の粒数より算出。整粒割合は品質判定機(静岡製機RS-2000)、玄米たんぱく含有率は食味計TM-3500(水分14.5%換算)で測定。検査等級は穀物検定協会に格付けを委託(数値は反復の平均値)。倒伏程度は0(無)～5(甚)の6段階。